

消費増税は  
ホントに必要？

2019年10月から税率10%への増税が予定されている消費税。  
そもそも消費税ってどんな税金？ 社会保障は良くなったでしょうか。

# 10%増税で私たちの暮らしはようになる

30年前の1988年12月、国民の7割の反対を押し切り「社会保障のため」と導入された消費税。税率が8%に引き上げられてから4年、格差と貧困はさらに広がり、私たちの暮らしはますます大変になっています。こんな状況のもと、増税は本当に必要でしょうか。大門議員が「わかりやすく」詳しくお話しします。

**10月6日（土）**  
**午後6時30分**  
**勤労者福祉会館**  
**（旭川市5条通4丁目）**

**※参加費無料**

**【税金講演会】講師**

日本共産党参議院議員

**大門実紀史**さん



だいもん・みきし 1956年京都市生まれ。全建総連中央執行委員、日本共産党政策委員を経て、2001年参議院議員に当選。現在4期目。趣味は山歩き、読書、絵本収集など。著書には『属国ニッポン経済版—アメリカン・グローバリズムと日本』『ルールある経済って、なに？—社会的公正と日本国憲法』など、経済関連の著書多数。

主催：消費税廃止旭川各界連絡会 旭川市曙北2条5丁目（旭川民商内） Tel 0166-23-3913 Fax 0166-22-4253